

研究名：可逆性後頭葉白質脳症後にてんかんを発症した小児腎疾患症例の検討

1．研究の目的

可逆性後頭葉白質脳症(PRES)は高血圧や腎機能障害を有する、あるいはステロイドやカルシニューリン阻害薬などを投与中の患者に生じうる中枢神経合併症であり、小児腎疾患患者での発症も少なくありません。視覚障害、頭痛、けいれんなどの臨床症状を呈し、頭部MRIにて特徴的な画像所見を示します。通常数週間以内に臨床症状、画像所見ともに改善し、予後良好な疾患とされてきましたが、神経学的な後遺症を生じる症例も頻度は低いながら認められます。本研究では、当センターにてPRES後にてんかんを発症した症例を4例経験したため、臨床経過及び臨床的な特徴を評価することを計画しました。

2．研究の方法

研究対象：2006年1月以降2019年12月までに当センターを受診し、PRESを発症した後にてんかんと診断された18歳未満の腎疾患を有する患者さん

研究期間：倫理審査委員会承認後～2021年3月

研究方法：対象患者を匿名化の上、臨床経過及びデータ（血液検査、頭部MRI検査、脳波検査など）をまとめ、考察を加えます。

3．研究に用いる情報の種類

病歴、検査データ（血液検査、画像検査（頭部MRIなど）、脳波検査）など。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学术论文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6．お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2020年5月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 腎臓・リウマチ・膠原病科 亀井 宏一

住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181（内線：7467）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 腎臓・リウマチ・膠原病科 亀井 宏一